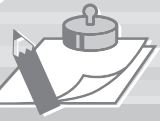




まちの話題



問 まちづくり推進課：0869-22-1031

スポーツを楽しんだ体育の日

瀬戸内市スポーツフェスティバル 2012

10月8日、邑久スポーツ公園（邑久町下山田）で、瀬戸内市スポーツフェスティバル 2012 が開催されました。瀬戸内市体育協会が体育の日に合わせて毎年開催しているもので、今回もさまざまなスポーツが体験できるとあって、多くの方が会場を訪れました。

秋晴れの空の下、芝グラウンドでは、試合形式のソフトバレーボール体験やサッカーボールを蹴って得点別的に当てて点数を競うハットリックなどが行われました。また、体育館ではスポーツ吹き矢やスポーツチャンバラなどが行われ、参加者は体育の日を満喫していました。



スポーツ吹き矢（左下）／ソフトバレーボール（右上）

つなぎ、つながり、寄りそう

9月29日、地域生活支援センタースマイル（邑久町山田庄）で、障害のある人たちと地域の人たちとの交流を目的として、第8回スマイルまつりを開催しました。

開会式の前に行われた邑久中学校吹奏楽部による演奏で会場はお祭りムードに。

福祉施設による模擬店の出店やゲーム、バザーなどが行われ、施設利用者と来場者は触れ合いを深めていました。



邑久中学校吹奏楽部の演奏に聴き入る来場者

にぎやかに地域を巡行しました

福岡だんじり祭り



かじ棒も使って一気に向きを変える（左上）／園児らに引かれるだんじり（右下）

10月13・14日、長船町福岡地区で福岡だんじり保存会によるだんじり祭りが行われました。

14日には、行幸幼稚園や長船西保育園、長船ちとせ保育園の園児らも参加。威勢の良い掛け声とともに地域の人と一緒に、市指定有形民俗文化財でもあるだんじりの綱を引き、地域を巡行しました。

曲がり角では、かじ棒と車体を押して、一気に方向転換。だんじりに乗り込んだ子どもたちは、迫力満点の音と振動を楽しんでいました。

また巡行先の各所で、餅投げも行われ、大勢の人でにぎわいました。

養護老人ホームの運営を民間に移譲

上寺山楽々園



調印した基本協定書を手に握手を交わす保都理事長（左）と武久市長

9月27日、養護老人ホーム上寺山楽々園運営事業を移譲する社会福祉法人センチュリー岡山の保都庸太理事長と武久頭也市長が基本協定書の調印を行いました。調印式で保都理事長は「入所者の皆さんが幸せで楽しい生活ができるよう頑張っていきたい」と述べました。

同法人は、10月から邑久町北島にある現在の上寺山楽々園の運営を引き継いでいます。今後、邑久町北池地内に新施設を建設する予定です。

建設完了後の平成26年4月には、現場での運営を終了し、新施設で養護老人ホーム運営を行う予定です。

豆力士が熱戦を繰り広げました

鞆負神社子供奉納相撲

10月21日、鞆負^{ゆきえ}神社（長船町長船）で秋祭り子供奉納相撲が開催され、地域の小学生までの子どもたち約30人の豆力士が境内の土俵に上がり熱戦を繰り広げました。

鞆負神社は県郷土記念物に指定されている天王社刀剣の森の中にある神社で、境内の松は足利尊氏が寄進したとされています。

毎年秋に行われる子供奉納相撲では、男子は昔ながらの裸にまわしを締めた姿で対戦。力強く対戦相手を押し出す姿や1分以上の大相撲の取組もあり、境内は豆力士への声援で盛り上がっていました。



土俵で一生懸命に相撲を取る豆力士

交通事故防止を願って 秋の交通安全県民運動瀬戸内市出発式

9月21日、市役所駐車場（邑久町尾張）などで、交通安全意識の高揚と交通事故防止を呼びかけるため、秋の交通安全県民運動瀬戸内市出発式を開催しました。

瀬戸内市交通安全母の会や瀬戸内交通安全協会の会員や市民などの参加者は、市役所から邑久高等学校まで啓発パレードを行い、その後邑久小学校児童や邑久高等学校生徒と一緒に「セトウチジコ 0」の人文字をつくりました。

その後、邑久ライオンズクラブから瀬戸内市交通安全対策協議会へ贈呈された交通事故なしを願った梨を会場で無料で配布しました。



啓発パレードを行う参加者（左下）／「セトウチジコ 0」の人文字（右上）

知っ得！情報
まちの話題
生活と環境
安全通信
健康ライフ
まなびの部屋
くらしの情報
みんなの広場